

## ROV(水中ドローン)とは？

遠隔操作により水中に  
潜行できる無人潜水  
探査機のことです。



# ROV(水中ドローン)調査のご紹介

ROV(水中ドローン)は河川、湖、海、ダム、水路など、様々な水中の調査に用いることができます。水中カメラを搭載し、動画・静止面の映像撮影や、外部モニターでのリアルタイム観察が可能です。これまで潜水士が行っていた目視観察に比べて

**コスト削減** **安全性向上** **ゆとり工程** を実現します。



海底に設置した仮設構造物の状況(水深約17m)

## 》》 港湾・河川施設の水中部分の状況把握に

ROVを用いることで、従来困難だった水中の構造物を対象とした調査・点検作業が無人で安全に実施できます。

## 》》 ダム等の貯水池状況確認に

湖底を画像で確認することにより、一歩先の詳細な状況把握を可能にし、総合的な堆砂調査や堆砂対策検討に寄与します。



防波堤下部通水部の状況(水深約6m)

## 》》 水路・管路の劣化診断・状況把握に

水路や管路の状態を、流水で満たされた状態で把握することが可能になります。



海底投棄物の状況(水深約3m)

## 弊社所有のROVで災害時にも迅速対応致します！

小型ROV グラディウスミニ

最大潜航可能深度 100m



高性能ROV ダイブユニット 300

最大潜航可能深度 300m



ROV詳細仕様は裏面へ



弊社パイロットによるROV操縦の様子



高品質を追求し未来を創造するオンリーワンカンパニー

# 中央開発株式会社

www.ckcnet.co.jp

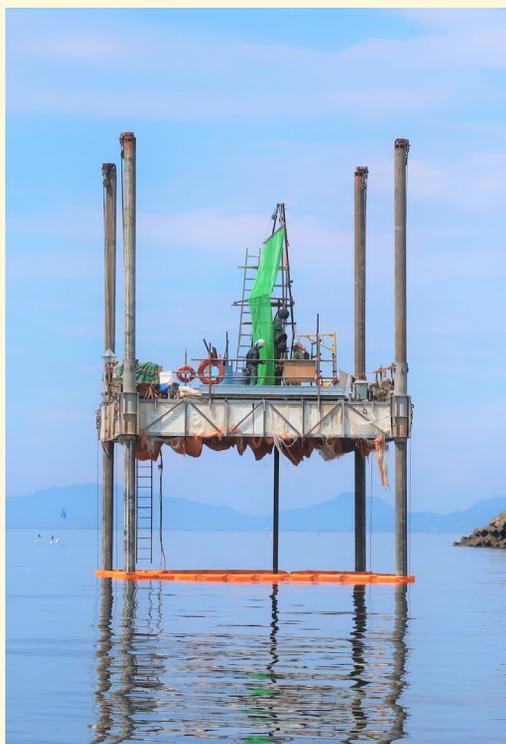
技術サポート窓口

☎ 中央開発株式会社 技術センター

☎ 03-3208-5252 ✉ ckc\_post@ckcnet.co.jp

## 調査事例

# スパッド台船を用いた海底ボーリング調査時の脚部着底状況の確認調査



海底ボーリング調査中のスパッド台船

海底ボーリング調査で用いられるスパッド台船は、台船の四隅に配置された脚を海底に着底させ台船を固定します。海底に障害物があると台船が不安定になるため、ROVによる海底調査を行うことで、障害物の有無、脚部の着底状況を確認することができました。



ROVが捉えたスパッド台船脚部の着底状況(水深約9m)



## 高機能ROV ダイブユニット 300

機種名	DiveUnit 300 (FullDepth Co., Ltd.)
本体サイズ	410×639.5×375mm
最大潜航可能深度	300m
重量	28kg(バッテリー込)
カメラ画質	Full HD(300fps)
照明	1,500ルーメンLED× 4基
推進機	7基(浮上潜航、前後・左右の移動、旋回が可能)
駆動時間	最大4時間
ケーブル	300m



## 小型ROV グラディウスミニ

機種名	GLADIUS MINI (Chasing-Innovation Technology Co., Ltd.)
本体サイズ	385×226×138mm
最大潜航可能深度	100m
重量	2.5kg
カメラ画質	4K
照明	1,200ルーメンLED× 2基
推進機	5基(浮上潜航、前後に移動、旋回が可能)
駆動時間	最大2時間
ケーブル	100m



高品質を追求し未来を創造するオンリーワンカンパニー

# 中央開発株式会社

www.ckcnet.co.jp

技術サポート窓口

☎ 中央開発株式会社 技術センター

☎ 03-3208-5252 ✉ ckc\_post@ckcnet.co.jp